

## 中小企業の相互扶助を組合で実現

(株)ビジネス・ブレイン

大和 修 取締役会長



福岡市博多区出身。1951年生まれの63歳。趣味はゴルフ、読書、人と話をする事

わりの早いサイクルに一企業・一専門家だけで太刀打ちするのは難しい」と、大和会長は2012年、中小企業の相互扶助を目的とした「未来経営事業協同組合」を立ち上げた。

同組合は20〜30代の若手社員を対象とした勉強会「トス」や、経営者や企業経営に携わる若手士業の勉強会「未来経営創造塾」に参加したメンバーを中心に結成。現在の会員は法人企業を含め約70社で、活動は単発の異業種交流会ではなく、毎月の勉強会やビジネスマッチングなど、持続的参加を通じ質の高い人脈形成を促している。

後継者問題が顕著となる中、「2代先の経営者までを考え、従業員とともに、会社を継続させることが重要」と話すのは経営コンサルタントの大和修会長。従業員と100ページ以上にあたる経営計画書を作成し、社員を巻き込んだコンサルティングの実践や今秋、自身3作目となるビジネス本を出版するなど精力的な活動を続けている。

人口減少やそれに伴う市場縮小、情報社会でニーズが多様化した今、「どんなに素晴らしいサービスを提供しても、移り変

1月からは、同組合の事務所（福岡市博多区中洲5丁目）を開放し、毎月第3水曜日の午後6時から経営相談を実施するなど、早期の100社体制に向け、サポートの充実を図る。大和会長は「会員がいつでも立ち寄れる場所として、賑やかな、仲間が集まる場所を築きたい。中小企業にとつては、未来を予測し、変化、対応することが特に重要。ともに未来を切り開いていきたい」と意気込んだ。